

2025年6月18日

E領域別研修(事例) 症例検討会

神戸市立西神戸医療センター
垣内優芳

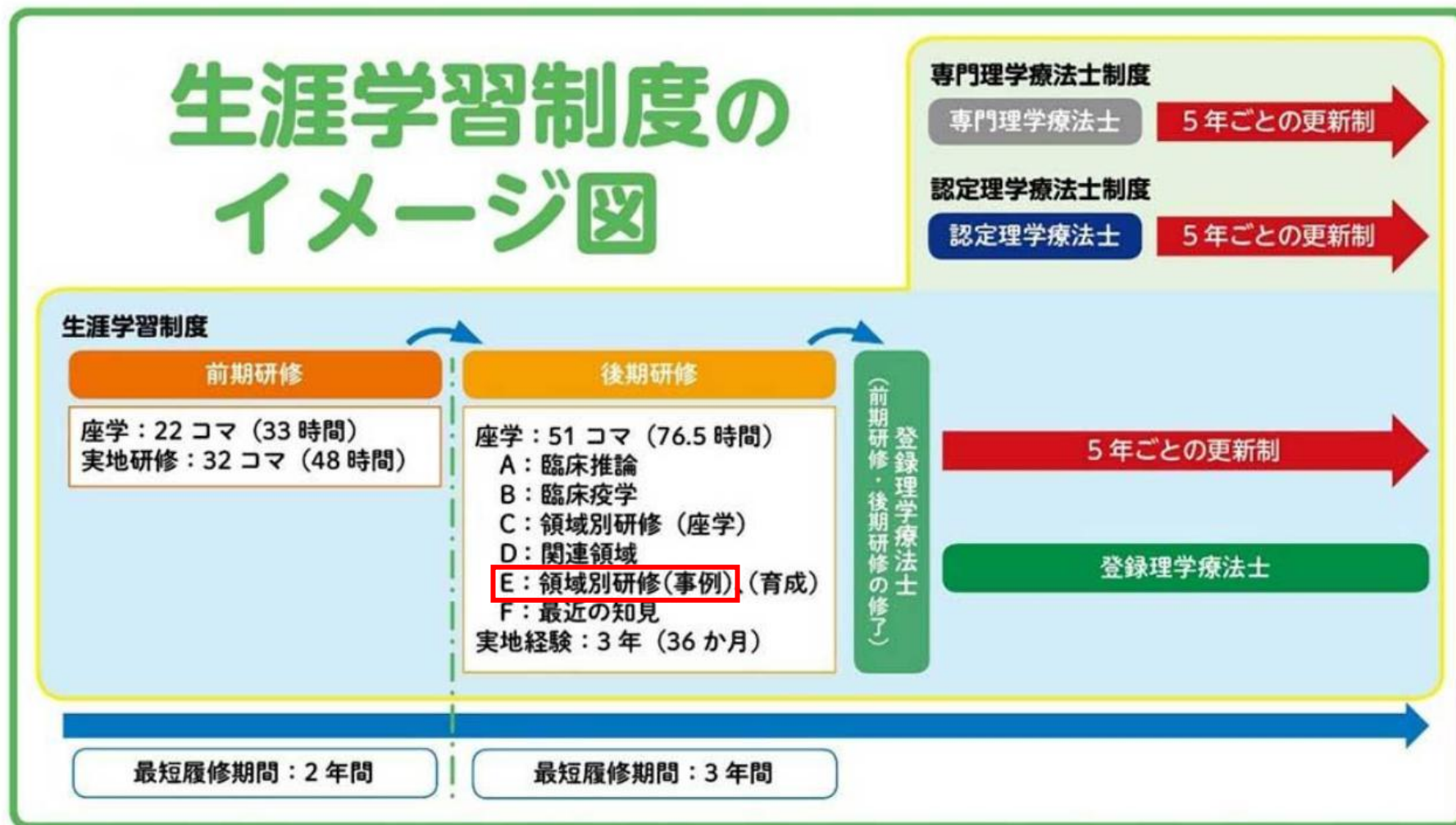
本日の概要

- 生涯学習制度によるE領域別研修(事例)の概要
- 症例報告のきっかけは？
- 症例報告の意義
- 発表のハードルを下げる方策

本日の概要

- 生涯学習制度によるE領域別研修(事例)の概要
- 症例報告のきっかけは？
- 症例報告の意義
- 発表のハードルを下げる方策

生涯学習制度（後期研修）



生涯学習制度（後期研修）

後期研修に関する内容



2. E領域別研修（事例）の症例検討会において、主催団体に日本理学療法士協会を追加する

適用年月日

2025年4月1日

新旧対照表

新	旧
● 日本理学療法士協会主催症例検討会 ● 都道府県理学療法士会主催症例検討会 ● 都道府県理学療法士会承認症例検討会	● 都道府県理学療法士会主催症例検討会 ● 都道府県理学療法士会承認症例検討会

生涯学習制度（後期研修）

講座名	講義テーマ	コマ（時間）数	修了要件	研修形式
E 領域別研修 （事例）	E-1 神経系理学療法学	2コマ	6コマ	対面 または オンライン
	E-2 運動器障害系理学療法学	2コマ		
	E-3 内部障害系理学療法学	2コマ		

発表： 1コマ
聴講：1/3コマ

□ 到達目標（抜粋）：

継続的な職場内外の教育活動や学会への参加できる、学習成果を後輩・同僚に伝達すると共に、理学療法実践に活用できる、学生や後輩の教育力向上に向けた働きかけをすることができる、率先して研究活動に参加することができる、学生や後輩への模範となり信頼を得ることができる

□ 学習目標：

各領域での臨床推論および課題解決のプロセスを経験学習する

→特に発表者は理学療法の実践における医師、看護師、患者さん、ご家族などへの説明能力も含めた臨床能力の向上が期待される

本日の概要

- 生涯学習制度によるE領域別研修(事例)の概要
- 症例報告のきっかけは？
- 症例報告の意義
- 発表のハードルを下げる方策

症例報告のきっかけは？

- 先輩や上司に言われた
 - やりたくない、自分の時間を大切にしたい、めんどくさい・・・
 - 自分では予定していなかったけど、言われてよいきっかけになった
- 生涯学習制度に含まれているから仕方ない
- 自分の考えを他の人にも聞いてほしい
- 患者さんがよくなったことを誰かに伝えたい
- やってみたい、勉強になりそう
- 憧れる、かっこよさそう
- 苦労・難渋した症例を経験したのでアドバイスがほしい

症例報告のきっかけは？

- 先輩や上司に言われた
 - やりたくない、自分の時間を大切にしたい、めんどくさい・・・
 - 自分では予定していなかったけど、言われてよいきっかけになった

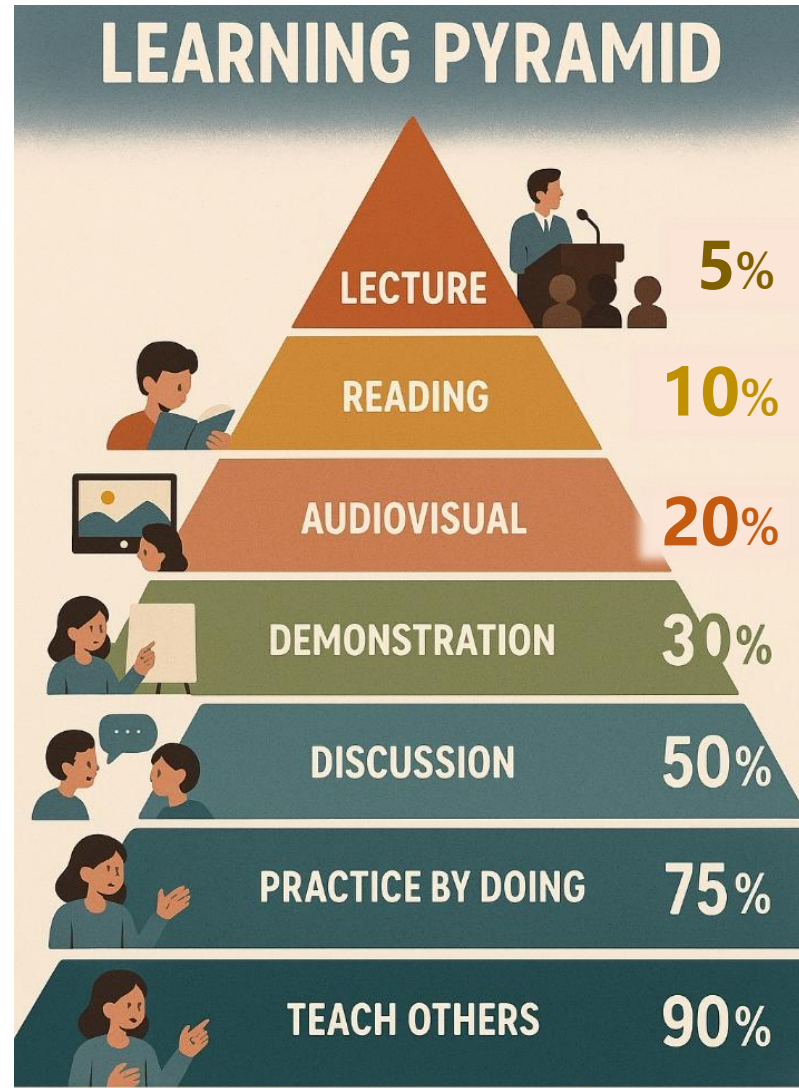
外的要因

- 生涯学習制度に含まれているから仕方ない
-

- 自分の考えを他の人にも聞いてほしい
- 患者さんがよくなったことを誰かに伝えたい
- やってみたい、勉強になりそう
- 憧れる、カッコよさそう
- 苦労・難渋した症例を経験したのでアドバイスがほしい

内的要因

ラーニング・ピラミッド



本日の概要

- 生涯学習制度によるE領域別研修(事例)の概要
- 症例報告のきっかけは？
- 症例報告の意義**
- 発表のハードルを下げる方策

症例報告の意義

- 臨床能力の向上
- 他の医療者への意味のある情報提供（新規性や臨床的意義・有用性がある場合）



本日の概要

- 生涯学習制度によるE領域別研修(事例)の概要
- 症例報告のきっかけは？
- 症例報告の意義
- 発表のハードルを下げる方策

発表のハードルを下げる方策

□ 準備、環境、心構えなど

- ・普段の診療から丁寧な評価(定量的、質的)、治療、指導、環境調整を行う
- ・早めの準備と計画を行う
- ・既存資料(教科書、診療ガイドライン、先行研究)を調べる
- ・テーマやラーニング・ポイントを設定し、何を伝えたいかを明確にする
- ・一般的な型や構成を知る
- ・患者同意や利益相反、注意点
- ・文字情報だけにならないように図表(タイムラインなど)を活用する
- ・先輩の症例報告や各学会の優秀セッション演題の抄録や発表を見る・聴く
- ・指導者に相談、症例報告関連の参考書を手に取る
- ・予演会で発表の練習を行い、質疑応答の想定を行う
- ・症例検討会や学会に先輩や同僚、同期と一緒に参加する
- ・最初から完璧を目指さない
- ・聴衆は批判してくる敵ではなく、建設的な意見をくれる味方だと意識する
- ・失敗したり、上手くいかなかったても、その経験が次につながると信じる
- ・小さな成功体験を積み重ねる
- ・根拠のない自信、まずはやってみる勇気を持つ(過信には注意)

発表のハードルを下げる方策

□ 準備、環境、心構えなど

- ・普段の診療から丁寧な評価(定量的、質的)、治療、指導、環境調整を行う
- ・早めの準備と計画を行う
- ・既存資料(教科書、診療ガイドライン、先行研究)を調べる
- ・テーマやラーニング・ポイントを設定し、何を伝えたいかを明確にする
- ・一般的な型や構成を知る
- ・患者同意や利益相反、注意点
- ・文字情報だけにならないように図表(タイムラインなど)を活用する
- ・先輩の症例報告や各学会の優秀セッション演題の抄録や発表を見る・聴く
- ・指導者に相談、症例報告関連の参考書を手に取る
- ・予演会で発表の練習を行い、質疑応答の想定を行う
- ・症例検討会や学会に先輩や同僚、同期と一緒に参加する
- ・最初から完璧を目指さない
- ・聴衆は批判してくる敵ではなく、建設的な意見をくれる味方だと意識する
- ・失敗したり、上手いかわなくても、その経験が次につながると信じる
- ・小さな成功体験を積み重ねる
- ・根拠のない自信、まずはやってみる勇気を持つ(過信には注意)

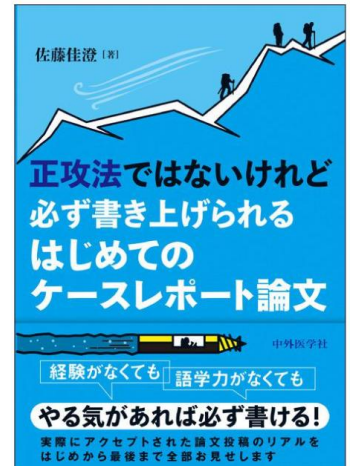
既存資料の調査

- 一般的な疾患知識（教科書、総説）
- 関連する診療ガイドライン（理学療法ガイドライン第2版、各学会による診療ガイドライン）
- 論文検索（PubMed、Google scholar、医中誌、J-STAGEなど）
- 翻訳ソフト、AIの活用



ラーニング・ポイント作りのヒント

- 非典型的な発症様式、経過
- 想定外の有害事象、合併症とその対応
- 新しい検査、治療の提案
- 新しい病態生理の推察
- その他
症例は成功体験だけでなく、失敗体験のどちらでも学びがあればOK



症例検討会における症例選択やテーマ

- 珍しい疾患の提示でなくとも大丈夫
- テーマは話が分散しないように1～2つに絞り、多く設定しすぎない
- 予期せぬ経過
- 理学療法介入時の有害事象や合併症
- 新しい評価・検査、治療
- 病態理解
- 普段の臨床における何気ない疑問点
- 一般的な疾患での理学療法実践時における落とし穴
- 難渋症例への介入方法や戦略
- その他

→これらを聴講者に相談するような気持ちでテーマ設定

テーマやラーニング・ポイントを意識



- ・テーマやラーニング・ポイントあり
- ・新規性、臨床的意義・有用性あり

- ・**テーマ**やラーニング・ポイントあり
- ・経過報告のみ

一般的な型や構成

□ インTRODクション （はじめに、緒言など）

- ・known → unknown → problem
- ・ラーニング・ポイントに関連する背景、ラーニング・ポイントを説明する論理的根拠、ラーニング・ポイント

□ ケース・プレゼンテーション （症例、症例紹介など）

- ・患者基本情報、病歴、診察所見、臨床検査所見、診断や評価、結果と経過
- ・新規性(第一、第二)を明示
- ・必要な情報を提示、必要のない余分な情報は記載しない

□ 考察

- ・この症例の鍵となるポイント、関連するエビデンスを考慮し症例を解釈、テーマは本症例以外にも広く適応できるか(一般化可能性)を科学的根拠を持って検討
- ・新規性(第一、第二)を鉄壁防御一般化(価値判断と有用性)

□ 結論

- ・必ずラーニング・ポイントを含む、考察の最後に含む場合あり

症例報告のためのチェック・リスト



CARE Checklist of information to include when writing a case report



Topic	Item	Checklist item description	Reported on Line
Title	1	The diagnosis or intervention of primary focus followed by the words "case report"	_____
Key Words	2	2 to 5 key words that identify diagnoses or interventions in this case report, including "case report" . . .	_____
Abstract (no references)	3a	Introduction: What is unique about this case and what does it add to the scientific literature?	_____
	3b	Main symptoms and/or important clinical findings	_____
	3c	The main diagnoses, therapeutic interventions, and outcomes	_____
	3d	Conclusion—What is the main "take-away" lesson(s) from this case?	_____
Introduction	4	One or two paragraphs summarizing why this case is unique (may include references)	_____
Patient Information	5a	De-identified patient specific information.	_____
	5b	Primary concerns and symptoms of the patient.	_____
	5c	Medical, family, and psycho-social history including relevant genetic information	_____
	5d	Relevant past interventions with outcomes	_____
Clinical Findings	6	Describe significant physical examination (PE) and important clinical findings.	_____
Timeline	7	Historical and current information from this episode of care organized as a timeline	_____
Diagnostic Assessment	8a	Diagnostic testing (such as PE, laboratory testing, imaging, surveys).	_____
	8b	Diagnostic challenges (such as access to testing, financial, or cultural)	_____
	8c	Diagnosis (including other diagnoses considered)	_____
	8d	Prognosis (such as staging in oncology) where applicable	_____
Therapeutic Intervention	9a	Types of therapeutic intervention (such as pharmacologic, surgical, preventive, self-care)	_____
	9b	Administration of therapeutic intervention (such as dosage, strength, duration)	_____
	9c	Changes in therapeutic intervention (with rationale)	_____
Follow-up and Outcomes	10a	Clinician and patient-assessed outcomes (if available)	_____
	10b	Important follow-up diagnostic and other test results	_____
	10c	Intervention adherence and tolerability (How was this assessed?)	_____
	10d	Adverse and unanticipated events	_____
Discussion	11a	A scientific discussion of the strengths AND limitations associated with this case report	_____
	11b	Discussion of the relevant medical literature with references	_____
	11c	The scientific rationale for any conclusions (including assessment of possible causes)	_____
	11d	The primary "take-away" lessons of this case report (without references) in a one paragraph conclusion	_____
Patient Perspective	12	The patient should share their perspective in one to two paragraphs on the treatment(s) they received	_____
Informed Consent	13	Did the patient give informed consent? Please provide if requested	Yes ☐ No ☐

患者同意や利益相反、注意点

- 倫理的配慮、倫理審査委員会、説明と同意(書)の取得
- 利益相反(COI: Conflict of Interest)の開示
- 一般的な注意点
捏造、改ざん、盗用
- 個人情報などのデータの取り扱いに注意
- Authorship
国際医学雑誌編集者委員会(ICMJE)、ゴースト、ゲスト、ギフト



Take Home Message

- 登録理学療法士の取得のために症例検討会での発表や聴講が必要！
- 症例発表の経験がない(少ない)方は、是非、テーマを意識した上でチャレンジして、臨床能力の向上を図ろう！
- 新規性や臨床的意義・有用性がある症例は、症例検討会で終わらずに学会発表、論文も視野に入れよう！

